

建設業・異分野コラボ促進支援

46社・129件が応募

企業シーズ中小中堅活路に

国交省 月内にマッチング会

国土交通省は8日、「建設業と異分野とのコラボレーション促進支援事業」の公募結果を明らかにした。同事業では大学や企業が持つ技術・事業シーズを基に新分野進出や複業化を図る中小・中堅建設企業などを募集。10分野にまたがる68の技術・事業シーズに対し、46社・129件の応募があった。月内にもシーズ提示企業と事業展開を希望する中小・中堅建設企業のマッチング会を開く。年度内に連携状況などを盛り込む報告書を年度内に作成する。

異分野連携では、省エネ化や耐震・予防修繕技術などの新工法や新技術を活用したヒジネスの具
体化や、農林業や環境な
どの地域活性化に建設業
のノウハウを効果的に結
び付けた事業展開を目指
す。

と、省エネ化・緑化関係
ではシーズ13件に対し応
募件数が38件。新外熱緑
化システムを用いた屋根
外断熱・潜熱冷却パネル
システム、環境緑化資材
を用いた壁面緑化システ
ムのシーズへの応募が集
中した。

耐震・予防修繕はシー
ズ5件に対し22件の応募
があった。大手セネコン
の大成建設がシーズ提案
を行った耐震補強技術
（格子型ブロック耐震壁
工法）の提供には8件の
応募があった。同社シー
ズでは、地方中小建設企
業の受注ターゲットであ
る公立小中学校などの耐
震補強工事に際し、同社
の補強技術を独自技術と
して提案することで中小
建設企業の受注機会増大
が可能になるという事業
提案。中小建設企業側は
ライセンス料を支払
い、設計・施工支援を受
ける。

再生可能クリーンエネ
ルギー関連では、シーズ
5件に対し、16件の応募
が合った。応募が多かつ
たのは、日本初の太陽光
発電システムを施工する
技能者養成校に5件、パ
ッシブ型地中熱利用換気
システムによる省エネ事
業4件、ユビキタスソー
ラーパワーハイブリット
システム4件、
土壌改良技術・水処理
・浄化技術関連のシーズ
は10件。これに対し応募
の応募があった。

同省では、「地方中小
建設企業を取り巻く厳し
い状況下、異分野連携は
業界のキーワード。上流
部で掘り起こし、案件を
つくっていく。補助はな
い。が、中小企業庁の新連
携支援事業などに乗って
行けば」（建設産業振興
室）とし、事業化段階で
活用可能な支援制度の紹
介などを引き続き行う考
えた。コラボレーション
に事業を委託し、応募
選定を実施した。

件数は15件。特に応募が
多かったのは、建設汚泥
などの高含水泥土の造粒
固化・重金属汚染土壌の
不溶化を低コストで連続
処理出来る装置の提供の
5件。

このほか農林水産業関
連ではシーズ10件に対し
15件の応募があった。応
募が多かったのは建設事
業者の農業参入支援への
4件。高齢化社会対策で
は、介護事業への参入支
援に5件、多世代コミュ
ニティ型集合住宅に6件
の応募があった。

同省では、「地方中小
建設企業を取り巻く厳し
い状況下、異分野連携は
業界のキーワード。上流
部で掘り起こし、案件を
つくっていく。補助はな
い。が、中小企業庁の新連
携支援事業などに乗って
行けば」（建設産業振興
室）とし、事業化段階で
活用可能な支援制度の紹
介などを引き続き行う考
えた。コラボレーション
に事業を委託し、応募
選定を実施した。

初予算に1500万円を
計上。テクノアシエー
ツに事業を委託し、応募
選定を実施した。